

# 石井康裕様

先日、家族旅行で上高地の秘湯の宿に泊まりました。満天の星を眺めながらの露天風呂で心も体も癒されました。



Vol.22  
国産品新聞  
2017.8

## がんばる社長を紹介! ①



第一弾は大阪市東成区の㈱石井文泉堂の社長、石井康裕さんです。私と石井さんとの出逢いは四年前。ホワイトベース小串さんのセミナーでした。先日のセミナーで久しぶりに再会。今回お話を聞かせて頂くことになりました。←4年ぶりに小串さんのセミナーで再会!

こんにちは、寺島義雄です。私の周りには元気ががんばっている社長さんがたくさんいらっしゃいます。これから定期的にご紹介していきますね。

石井さんは創業六十六年の印刷会社の三代目。十一年前に社長を引き継いでから、山あり谷あり苦勞をされてこられました。そんな中でも最近の四年間は、売上が1.4倍になっていきます。その主な要因は、お客様にハガキを書くようになったからだと言います。

四年前にホワイトベースさんのセミナーを受けた石井さんでしたが、ハガキの効果には半信半疑でした。それでもためしにと、売上上位のお客様200人に毎月出すことにしました。

石井さんの人間味が伝わってくる内容なので、毎回届くのを楽しみにしている方も多いようです。ハガキを出す先を増やしながら、二年、三年と続けていくと、お客様との距離が縮まり、問合せや注文が自然に増えてきたと言います。

「ハガキを書くようになって一番良かったのは、書きながら『このお客様に最近会ってないな』と気づき、アポイントの電話をかけることが増え、以前よりお客様に会う回数が増えた、これですね。自分のお客様を忘れない、そのためにハガキを書いています」と言い切る石井さんの信念を感じる事ができました。(次回に続く)

今回もお読み下さり、ありがとうございます。寺島義雄

# 石井康裕様

暦の上では秋ですが  
しばらく残暑が続きそうなので  
夏の疲れが出ませんように...



Vol.23  
国産ビジネス新聞  
2017.9

## がんばる社長をご紹介!

こんにちは、寺島義雄です。  
前回に引き続き、㈱石井文泉堂の三代目社長、  
石井康裕さんをご紹介します。

石井さんは、クリーニング店で使うタグ  
専門の印刷会社を34歳で引き継ぎまし  
た。お客様であるクリーニング業界の景  
気に影響され、売上もピーク時から半分  
以下に落ち込んでいたそうです。借金も  
一億円を超え、倒産寸前の状況からどう  
やってV字回復できたのか。その秘密を  
お聞きしました。



ふんちゃん研修会



父親の会社に入社してまずタグの営業を始めた  
石井さんでしたが、「ライバルとほとんど同じ商  
品なので、どうしても値段勝負になってしまう」  
そんな悩みを持つようになったと言います。

「タグの受注を増やすにはクリーニング屋さん  
の売上が上がらないといけない」

そのために石井さんがしたことは、何か。

まずは、チラシなどの販促物をつくるようになり  
ました。そしてどんなチラシが反応あるのかを知  
るために、なんと自分でクリーニングの「アンテ  
ナショップ」を始めたんだそうです。いろんなパ  
ターンのチラシや広告をつくり、どれくらい効  
果があるのかデータをとって行きました。

それらのデータをもとに、クリーニング屋さんを  
集めた研修会を定期的開催するようになりま  
した。そこでは儲かるためのノウハウが惜しげも  
なく伝授され、「クリーニング業界みんなが元氣  
になって行こう」という雰囲気生まれています。

「もうけてもらって、もうけます!」

全国で4社しかないタグ専門の印刷会社の中で、  
ライバルがやらない差別化戦略。

どん底から17年間で5倍の売上になった会社の  
秘密がここにありました。(次回で完結です)

今回もお読み下さり  
ありがとうございます。寺島義雄

# 石井康裕様

空が高く、すがすがしい季節ですね。  
秋を満喫できますように...



Vol.29  
國がズル新聞  
2017.10

## がんばる社長をご紹介します!

こんにちは、寺島義雄です。  
御石井文泉堂の三代目社長、石井康裕さんのご紹介は今回で完結です。  
将来の夢、社員さんに対する想いも、とても熱いものをお持ちの社長さんでした。

「楽しく仕事をしてもらって、社員たちが辞めない会社にしたいですね」  
将来どんな会社にしたいですか、という私の問いに石井さんは、すぐにそう答えられました。



実は石井さんが会社を引き継いでから数年間は、社員同士のけんかも絶えず、社員も立て続けに辞めてしまう、闇の時代が続いたそうです。  
そんな苦しい状況を乗り越えられたのは、新しくつくった**経営理念**のおかげだと思います。毎朝の朝礼やミーティングなどで、自分の想いを理解してもらおう努力を地道に続けていきました。

「せっかく何かのご縁があって入社してくれたんですから、定年退職の時に、『石井文泉堂で働いてよかったなあ』と思ってもらいたいです。そんな会社にするのが夢ですね」  
中堅企業並みの給与体系を目標に、退職金制度、確定拠出年金などの制度も充実させてきました。

さらに石井さんは、自分が持っているノウハウを、これからはどんどんスタッフに引き継ぐことで、自分の分身をつくっていききたいといいます。  
「スタッフが仕事をしていて、直接お客様から感謝されるとうれしいと思うんですね。それがかなりのモチベーションになるんじゃないかな...」

『和を第一とし、三方よしを実現し、みんなを幸せにする。』

この理念を掲げながら日々経営に邁進している石井社長をますます応援したくなりました。(完)

今回もお読み下さり  
ありがとうございます。  
寺島義雄